

熊本

kumamoto

熊本市 I R 資料

平成26年 10月 熊本市 財政局 財政課



目次

I. 熊本市のプロフィール	1	
■ 熊本市の概要	3	
■ 熊本市の特色	4	
■ 熊本市の産業	5	
■ 熊本市の人口動態	6	
■ 熊本市への主な評価	7	
II. 熊本市の市政運営	9	
■ 湧々都市（わくわく）都市くまもと	11	
■ 熊本市が目指す都市構造の将来像（定住促進）	12	
■ 企業から選ばれる都市（定住促進）	13	
■ 医療・子育てしやすい都市（少子化対策）	14	
■ 中心市街地の活性化（交流人口の増加）	15	
■ 観光地・MICE開催地として選ばれる都市 （交流人口の増加）	16	
■ 東アジア戦略の展開（交流人口の増加）	17	
■ 行財政改革の実績・成果	18	
■ 行財政改革の取組み	19	
III. 熊本市の財政状況	21	
■ 財政規模（平成26年度当初予算）	23	
■ 決算の状況（普通会計 歳入）	24	
■ 決算の状況（普通会計 歳出）	25	
■ 主な財政指標の状況（平成25年度決算）	26	
■ 健全化判断比率の状況	27	
■ 市債発行額・公債費・市債残高の状況（普通会計）	28	
■ 基金の状況	29	
■ 特別会計の状況（平成25年度決算）	30	
■ 公営企業会計の状況（平成25年度決算）	31	
■ 外郭団体の状況（平成25年度決算）	32	
■ 財政の中期見通し	33	
■ 平成26年度起債計画	34	



熊本城 大小天守閣(中央区)



I. 熊本市のプロフィール

■ 熊本市の概要

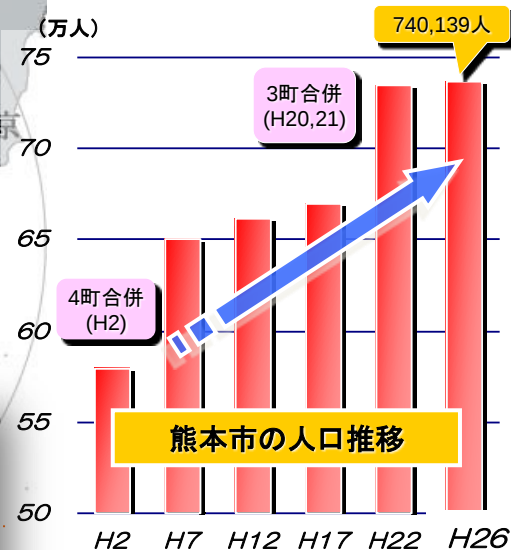
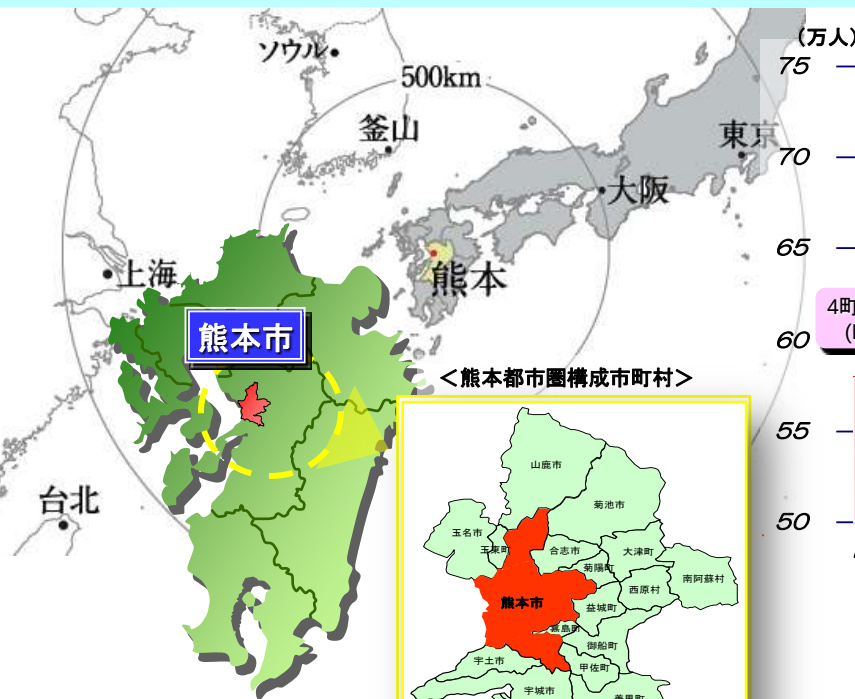
- ◆ 平成24年4月1日、全国で20番目、九州で3番目の指定都市へと移行
- ◆ 優れた都市環境と豊かな自然環境を併せ持つ魅力ある都市
- ◆ 熊本都市圏(熊本市への通勤通学が10%以上の周辺市町村で構成)人口は、約125万人

熊本市の基礎データ(H26.9.1)

- 人口 740,139人
※熊本都市圏人口 1,252,017人
(H22国勢調査)
- 面積 389.54平方キロメートル
- 人口密度 1,900人/km²
- 世帯数 315,526世帯

熊本市の沿革

明治22年4月	市制・町村制が施行され、熊本市が誕生
昭和47年10月	「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開
昭和51年3月	「地下水保全都市」を宣言
昭和52年5月	人口が50万人を突破
平成元年4月	市制施行100周年
平成3年2月	飽託郡4町(北部、河内、飽田、天明)と合併 人口が60万人を突破
平成8年4月	中核市へ移行
平成19年1月	熊本城築城400年祭が始まる
平成20年10月	下益城郡富合町と合併 人口が67万9千人となる
平成21年4月	市制施行120周年
平成22年3月	下益城郡城南町、鹿本郡植木町と合併 人口が73万人となる
平成23年3月	九州新幹線全線開業
平成24年4月	指定都市へ移行



熊本県西部に位置する「天草」



夏目漱石「草枕」の峠の茶屋から望む夕陽



熊本県東部に位置する「阿蘇」



I. 熊本市のプロフィール

■ 熊本市の特色

- ◆ 九州の中央に位置する地理的優位性（九州各主要都市まで約150分圏内）
- ◆ 九州の行政の中心として発展し、国の出先機関の立地多数、大学・医療機関が高集積

熊本市内の国の出先機関等

- 九州総合通信局
- 九州農政局
- 九州財務局
- 九州森林管理局
- 九州地方環境事務所
- 陸上自衛隊西部方面総監部 等

九州新幹線鹿児島ルート

- 平成23年3月に、九州新幹線鹿児島ルートが全線開業し、旅客流動は49万2000人増加（開業後1年で、54%増！！）
- 関西・広島・岡山・四国からの観光客が大幅に増加
- 出張等のビジネス移動時での移動手段としても定着

教育環境の充実

- 理工系の学部・学科が充実しており、IT・バイオ技術等、多分野において豊富な人材を輩出する学園都市（8大学、1短期大学、27高等学校、44専修学校等）
- 人口1万人当たり大学入学定員 82.3人（指定都市20市中6位）

新大阪まで3時間

関西・中国方面へ



女性が暮らしやすいまち

- 働く人に占める女性の割合、全国第3位（都道府県順位）
- 熊本県内の企業や役所の管理職に占める女性の割合、全国第5位
男女共同参画会議「基本問題・影響調査専門調査会」とりまとめ結果より
- 人口は自然増（出生数－死亡数）を続けており、出生率が高い
⇒ 子どもを生み育てやすい環境
- 合計特殊出生率：1.49、出生率：9.7（ともに指定都市20市中2位）

医療環境の充実

- 医療機関が高集積、医師数・救急隊数の充実
- 指定都市で唯一内科・外科・小児科の24時間診療体制を確立
- 人口10万人当たり医師数 400.7人（指定都市20市中2位）

I. 熊本市のプロフィール

■ 熊本市の産業

- ◆ 清冽で豊富な地下水と大地が育む豊かな農業
- ◆ 熊本都市圏は、自動車関連企業や電気機器・半導体関連企業が数多く立地する一大集積地

豊かな農水産物

- 農業産出額は、指定都市20市中3位（全国8位）
- なす・すいかは、全国1位の産出額
- みかん・メロンの全国有数の産地
- 天然ハマグリの水揚げ量日本一



産業別就業者比率

- ・ 第1次産業 3.87%（指定都市20市中2位）
- ・ 第2次産業 16.81%（同17位）
- ・ 第3次産業 79.32%（同5位）

※平成22年国勢調査確定値より

熊本都市圏の主な立地企業

①熊本市

- ルネサスセミコンダクタマニファクチュアリング
- ★アイシン九州
- ★アイシン九州キャスティング
- ★平田機工
- 化学及血清療法研究所
- トランスジェニック
- アイディエス
- JTB熊本リレーションセンター
- ソフトバンクBB／BBコール
- TMJ
- トランス・コスモス
- 日本トータルテレマーケティング
- ミスミ
- パド・プレスト
- アクセンチュア
- ◎井関植木製作所
- ◎南九州コカ・コーラボトリング
- ◎熊本ヤクルト
- ◎リパテープ製薬
- ◎フジパンビ

②宇土市

- 三和化学研究所
- ◎大阪製鐵
- ◎日本合成化学工業

③宇城市

- 中央電子工業
- 理化電子
- ★九州エフシー
- ◎山崎製パン

④合志市

- 東京エレクトロン九州
- 三菱電機
- ★合志技研工業
- ◎日本たばこ産業

⑤菊陽町

- ソニーセミコンダクタ
- 富士フィルム九州

⑥大津町

- テラダイ
- 東京エレクトロン九州
- HOYA
- 三井ハイテック
- ★富士精工
- ★本田技研工業
- ★本田技術研究所
- ★中央可鍛

⑦益城町

- ウエハーマスターズ
- ★井関熊本製造所
- 再春館製薬所

⑧嘉島町

- ◎サントリー九州

- 半導体関連
- ★輸送機器関連
- バイオ関連
- 情報サービス
- ◎その他
- ※企業名は50音順

I. 熊本市のプロフィール

■ 熊本市の人口動態

- ◆ 現在も人口は増え続けており、近年は社会増にも転じている
- ◆ 若い女性の流入が多く、出生率も高い

人口動態の状況

出典：熊本県推計人口調査（各年10月1日時点）

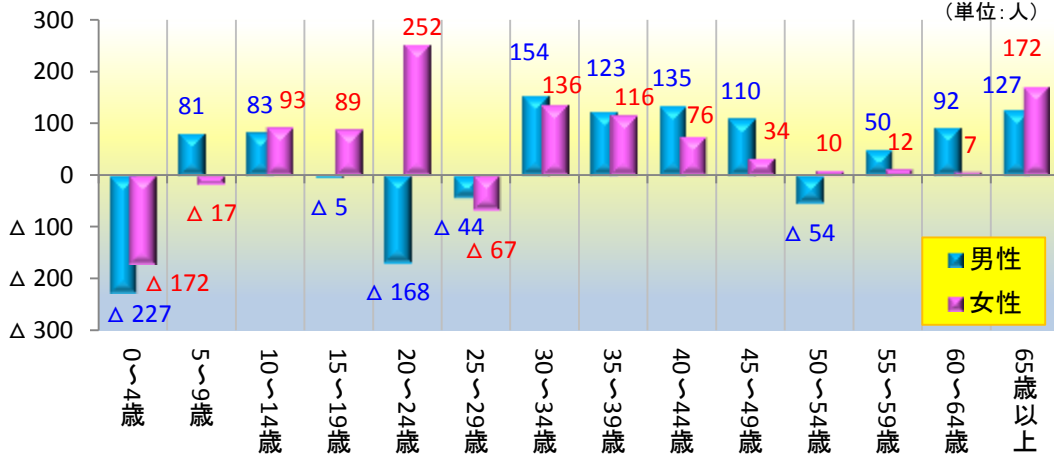
（単位：人）

	H21	H22	H23	H24	H25
人口増減	555	1,034	1,536	1,679	1,852
自然増減	1,504	1,567	796	802	841
出生数	7,283	7,403	7,093	7,158	7,364
死亡数	5,779	5,836	6,297	6,356	6,523
社会増減	▲ 949	▲ 533	740	877	1,011
転入	29,856	27,276	27,735	27,698	44,120
転出	30,805	27,809	26,995	26,821	43,109

5歳区分別男女別人口増減（社会増減）

出典：住民基本台帳人口移動報告
（2012.4.1～2013.12.31）

（単位：人）

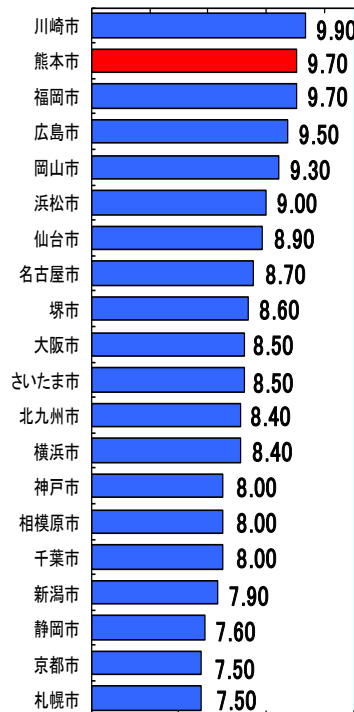


出生率と合計特殊出生率（平成22年度）

- 熊本市は、出生率及び合計特殊出生率ともに指定都市中第2位と高い水準

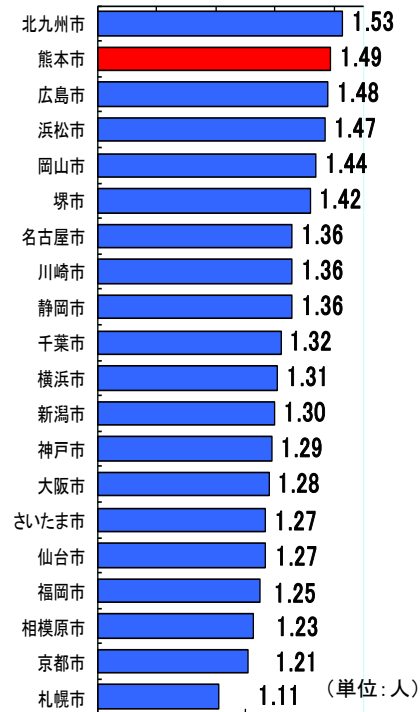
<出生率>

人口1000人あたりにおける出生数



<合計特殊出生率>

一人の女性が一生に産む子供の平均数



I. 熊本市のプロフィール

■ 熊本市への主な評価

- ◆ 「蛇口をひねればミネラルウォーター」。上水道水源100%を地下水でまかなう日本一の地下水都市
- ◆ 平成25年3月、国連事務局より、2013国連“生命の水（Water for Life）”最優秀賞を日本で初めて受賞。長年にわたる、広域的な地下水保全の取組みについて世界的な評価を受ける。

国連“生命の水（Water for Life）”表彰

- 国連事務局が、世界各都市で行われている優れた水管理の取組みを推進するために、特に顕著な取組み事例を2011年から「世界水の日」（3月22日）に表彰
- 2013年は世界46都市から応募があり、本市はこのうち34都市がエントリーしたカテゴリー1「最良の水管理の取組み」の1位に輝く

地下水保全の取組み

- 周辺自治体との協働による水田を活用した地下水かん養の取組み
- 節水市民運動（1人1日あたりの生活用水使用量230ℓを目標）
- 県及び11市町村と連携し、（公財）くまもと地下水財団を設立



節水市民運動のパレード



地下水を育む水田



＜地下水システム図＞



希少動植物の宝庫であり、「水の都熊本市」を実感できる江津湖



熊本オフィシャルウォーター「熊本水物語」

I. 熊本市のプロフィール

■ 熊本市への主な評価

- ◆ 熊本城を中心としたまちづくりの取組みが、アジア都市景観賞大賞を受賞
- ◆ “行ってよかった！日本の城” ランキング2年連続で第1位！！
- ◆ アジア初、世界で1,000番目のフェアトレード・シティ認定

アジア都市景観賞

- アジア都市景観賞は、アジアの優れた都市景観の形成に寄与した都市や事業などを表彰する国際賞として、2010年に創設
アジア人間居住環境協会、国連ハビタット福岡本部、アジア景観デザイン学会、財団法人福岡アジア都市研究所が主催
- 2011年に申請した「熊本城復元整備とまちづくり」について、大賞を受賞

＜熊本城復元整備とまちづくり＞

- 熊本城復元整備の推進や復元整備への特典付寄付（「一口城主」）制度の展開
- 熊本城を生かした街の賑わいの創出
- 熊本城を望む眺望に配慮した景観保全



熊本市の中心部に位置する熊本城



本市最大の観光地、熊本城の魅力向上

- 熊本城の入園者数は10年前と比較して、大幅に増加
(平成25年度の入園者数160万人、全国4位)
- 世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」が実施するランキング“行ってよかった！日本の城2013・2014”にて2年連続で第1位を獲得
なお、2014年日本の人気の観光都市ランキングにおいても熊本市は第8位にランクイン
- 熊本城のエントランスにあたる地区に、観光交流施設「桜の馬場城彩苑」を整備



行ってよかった！
日本の城ランキング2014

1位	熊本城
2位	松山城
3位	姫路城
4位	弘前城
5位	松本城

熊本城本丸御殿復元
(昭君之間・大広間)

アジア初のフェアトレード・シティ認定

官民協力してフェアトレード製品の推進を行っている都市として認定機関から日本・アジア初、世界で1,000番目の都市として認定。

「フェアトレード」とは

発展途上の国・地域で作られたモノを長期的に、適正価格で購入することで、その国や地域の生活と生産が持続可能になることを目指す、貿易・ビジネス・消費運動や国際協力のこと



Ⅱ 熊本市の市政運営

目指す
まちの姿

わくわく 『湧々都市くまもと』

～九州の真ん中！ 人ほほえみ 暮らしうるおう 集いのまち～

■ 熊本市が今後強化する3つの取り組み

◆ 今後の将来にわたり人口70万人規模を維持し、持続可能で創造的な都市を目指すという視点から次の3つの取組みを強化

定住促進 ～ 多様な人材がその能力を生かして働くことができるまちづくり ～

企業立地の促進

指定都市トップレベルの企業立地補助制度を活用し、企業誘致を強力に推進。
(補助金限度額30億円)



活気あふれる元気な農村地域創造事業の構築

地元農産物の提供や生産者と消費者との交流などを通じて、農業への理解や、地産地消の推進による地域農業の活性化、都市住民の豊かな暮らしの実現を図る。



少子化対策 ～ 子どもを安心して産み育てられるまちづくり ～

街なか子育てひろばの整備

中心市街地にある熊本市現代美術館内に、親子で気軽に子育ての相談や交流などができる「街なか子育てひろば」を今年度オープン。



病児・病後児保育事業

仕事の都合で病気や病後回復期の児童を看ることも、保育園への通園もできない場合に、一時的に当該児童を適切な処遇が可能な専門的なスペースに預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援する。

交流人口の増加 ～ 多くの人が訪れ様々な交流が生まれるまちづくり ～

MICE施設の整備

熊本城を望む中心市街地に、3,000人規模のコンベンションを開催できるMICE施設を新たに整備する。

熊本城マラソンの開催

城下町を駆け抜ける熊本城マラソンには国内外から1万人を越えるランナーが参加する。



「熊本市第6次総合計画」(平成21年度～平成30年度)

Ⅱ 熊本市の市政運営

■ 熊本市が目指す都市構造の将来像(定住促進)

- ◆ 熊本市が目指すのは「豊かな水と緑、多様な都市サービスが支える活力ある多核連携都市」
- ◆ 人口減少社会において活力があり持続可能な都市づくりに向けて、居住機能や都市機能の集積による都市のコンパクト化、公共交通ネットワークの充実に取り組む

① 公共交通の利便性が高い地域への居住機能誘導

- 様々な都市機能が利用しやすい魅力的な市街地の形成
- 空き地、空き家の利活用や情報提供による誘導

② 中心市街地や地域拠点への都市機能集積

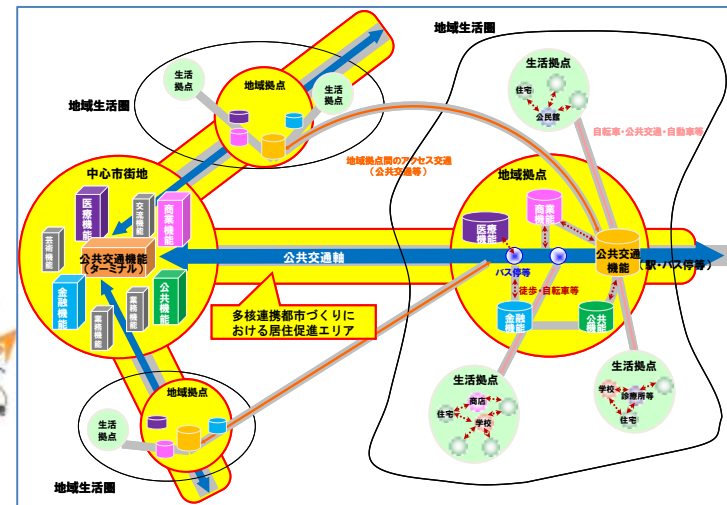
- 都市機能の立地に対する支援
- 空き家、空き店舗等の低未利用地の活用

③ 公共交通ネットワークの充実

- 交通事業者と連携した利用促進、意識啓発
- 定時性、速達性、輸送力の強化



多核連携都市づくりのイメージ



市電魅力向上

今秋導入の超低床電車の新型車両(愛称「COCORO」)は、話題の豪華寝台列車「ななつ星」や九州新幹線等をデザインした水戸岡鋭治氏によるもの。



Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ 医療・子育てしやすい都市(少子化対策)

- ◆ 指定都市で唯一内科・外科・小児科を365日24時間受診できる初期救急体制を整備
- ◆ 社会全体で子育てやワーク・ライフ・バランスを応援

安心の救急医療体制

- 初期救急（外来で対応可能な方）
 - ・ 休日・夜間急患センター
熊本地域医療センター・熊本赤十字病院
 - ・ 在宅当番医
- 二次救急（入院が必要な方）
 - ・ 病院群輪番制運営事業
熊本地域医療センター、熊本赤十字病院、済生会熊本病院
熊本市市民病院、国立病院機構熊本医療センター
 - ・ 救急告示医療機関

子育てしやすい環境づくり

- 認可外保育施設利用者への経済的負担軽減
認可保育所の入所条件を満たしていながら入所できず認可外保育施設を利用している保護者に対し、利用料の一部を助成
- ファミリーサポート事業
子どもの預かりや保育園への送迎、通院等の援助を受けたい方と、その支援を行いたい方による、相互援助活動を支援
- こんにちは赤ちゃん事業
妊産婦及び乳幼児を対象とした保健師又は助産師の家庭訪問による産後の母乳や乳幼児の保健指導

など



Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ 観光地・MICE開催地として選ばれる都市(交流人口の増加)

- ◆ 日本三名城のひとつに数えられる「熊本城」は、本市の観光の中核施設として、これまで「本丸御殿」「桜の馬場 城彩苑」などを整備
- ◆ 昨年度、第11回アジア太平洋都市サミットを開催

観光資源の情報発信・プロモーション

- 熊本は、風情のある町並み、豊かな食の恵み、温泉等の観光資源が豊富
- 各種媒体を利用した情報発信や、各都市でのプロモーション等を行い、観光資源を活用



桜の馬場 城彩苑



おもてなし武将隊



熊本の特産品(太平燕(タイピーエン)、熊本ラーメン、馬刺し、からし蓮根)



滑らかな泉質が特徴の「植木温泉」

第11回アジア太平洋都市サミットの開催

- 「アジア太平洋都市サミット」は、アジア太平洋地域の諸都市の首長が一堂に会し、率直な意見交換等を行うことにより、都市問題の解決に向けた相互協力、さらには、都市の一層の発展に向けたネットワークの構築を推進する目的で、1994年から隔年で開催。
- 平成25年10月31日から11月2日にかけて、第11回アジア太平洋都市サミットを本市で開催。
- 「くらしやすい都市づくり」をテーマに13カ国・地域から24都市が参加。



Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ 東アジア戦略の展開(交流人口の増加)

- ◆ 観光客・留学生の誘致に向けたプロモーション等、本市の魅力発信を強化・充実
- ◆ 上海・香港・桂林・台北・釜山・ソウル・蔚山市等をターゲットとした東アジア戦略を展開

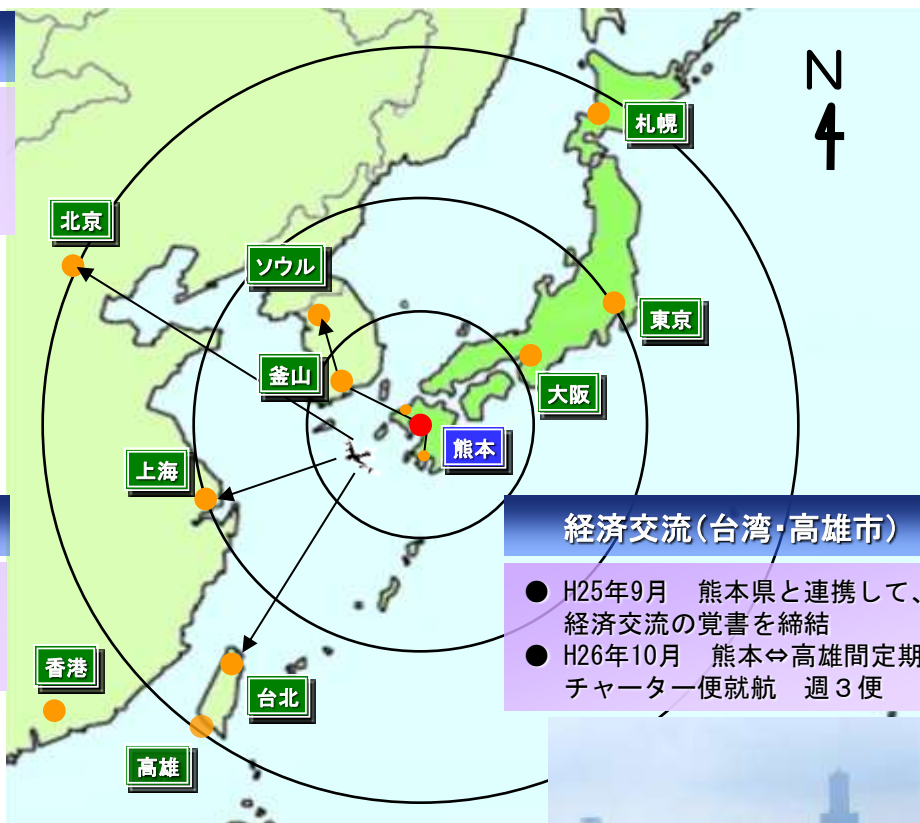
上海事務所開設

- 平成24年1月熊本県・熊本大学と共同開設
- 観光客誘致・ビジネス支援・留学生誘致



国際食品見本市(香港)

- 平成19年度から継続して実施
- 香港国際食品見本市 (FOOD EXPO) へ出展



経済交流(台湾・高雄市)

- H25年9月 熊本県と連携して、経済交流の覚書を締結
- H26年10月 熊本⇄高雄間定期チャーター便就航 週3便



東アジア経済交流推進機構への加入

- H26年度中に加入予定
- 日・中・韓の大都市間の経済、観光、環境分野での連携を図る

マレーシア政府機関との連携

- H26年4月マレーシア政府機関と日本の自治体で初めてハラル関連事業の覚書を締結



Ⅱ. 熊本市の市政運営

■ 行財政改革の実績・成果

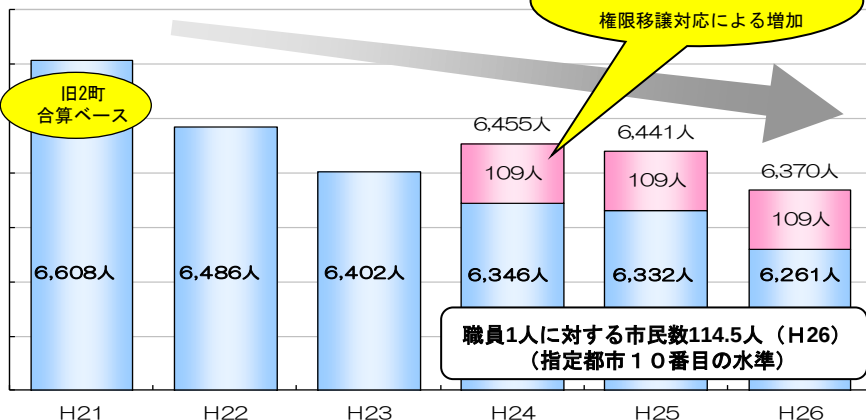
- ◆ 市民福祉の向上や効果的・効率的な行政体制の整備に向けて平成8年度より行財政改革に取り組む
- ◆ 第1次から第4次の行財政改革の取組みにより、600億円を超える財政効果を実現

これまでの行財政改革の取組み（平成8年度～平成25年度）

		第1次 行財政改革大綱	第2次 行財政改革大綱	第3次 行財政改革推進計画	第4次 行財政改革計画
実施期間		平成8～11年度	平成12～15年度	平成16～20年度	平成21～25年度
職員数	目標	職員1人あたり 市民100人	6,500人	6,124人	6,343人
	成果	職員1人あたり 市民101.2人	6,364人	6,119人	6,370人
効果額	目標	50億円	30億円	275億円	162億円
	成果	49億円	53億円	332億円	170億円

約600億円
の削減効果

職員数の推移



※県からの権限移譲に伴う人員増の影響（109人）を除くと毎年、確実に減少傾向に

主な取組み内容

◇ 民間活力の活用

- ・ 約400施設の管理を民間事業者（指定管理者）に委託
- ・ ごみ収集、学校給食業務の民間委託
- ・ PFI方式による施設整備の実施（桜の馬場観光施設等）

◇ 受益者負担の見直し

市営駐輪場、動植物園駐車場の有料化（H24）

◇ 税収等の確保

市税収納率の向上（H21 91.1% ⇒ H24 92.8%）

◇ 公営企業の改革

市営バス全路線を、民間事業者へ段階的に移譲（～H27）

Ⅱ 熊本市の市政運営

■ 行財政改革の取組み

- ◆ 平成26年度からは新しいくまもとづくりとそれを支える市政改革の着実な推進を図るため、第5次行財政改革を進めていく

第5次行財政改革

目標 『将来にわたり持続可能な市政運営の実現』

市民のニーズに対応した質の高いサービスの提供

時代の変化を捉えた効率的・効果的な行政運営の推進

確固たる財政基盤の構築

計画期間 平成26年度から平成30年度

主な取組内容

◇ 質の高い区政サービスの提供

区役所・出張所のあり方とまちづくり推進体制の見直し 他

◇ 経営マネジメントの境界 情報システムの最適化 他

◇ 民間活力等の活用 総務事務のアウトソーシング、図書館サービスの見直し 他

◇ 財政基盤の強化

市税収納率の向上、債券管理のあり方の検討、受益者負担の見直し 他

◇ 総人件費の抑制 市定員管理の推進（H31年度 6,300人体制を目標）

◇ 公共施設等の最適化

公共施設のマネジメント構築、学校施設長寿命化計画の検討・策定 他

目標値

○ 行財政改革の取組みが進んでいると感じる市民の割合

25.0% ⇒ 50.0%

○ 信頼できる市政と感じる市民の割合

38.4% ⇒ 60.0%

○ 効果的かつ効率的に市政が運営されていると感じる市民の割合

19.9% ⇒ 55.0%

○ 経費効果額 174億円

各種財政指標の推移

	基準値 (24年度決算)	目標値 (平成30年度)	(参考) 早期健全化基準
実質赤字比率	黒字	黒字を維持	11.25%
連結実質赤字比率	黒字	黒字を維持	16.25%
実質公債費比率	11.1%	8.0%台	25.0%
将来負担比率	120.7%	150.0%以内	400.0%
経常収支比率	89.1%	現状を維持	—
財政調整基金残高	108億円	100億円台	—
市債残高（臨財債除く）	2,265億円	2,500億円程度	—



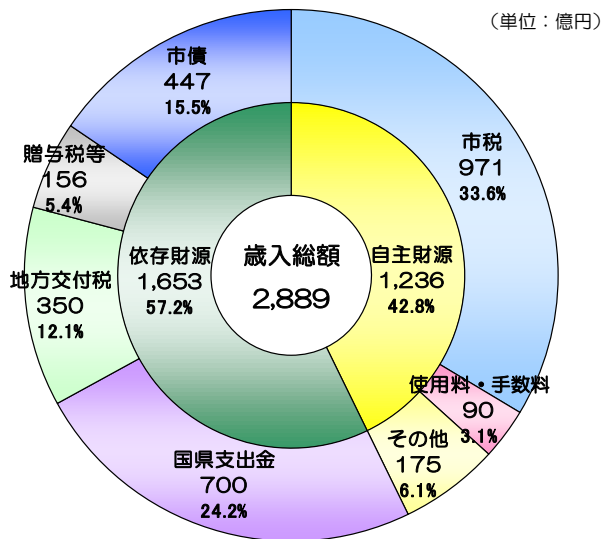
Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 財政規模（平成26年度当初予算）

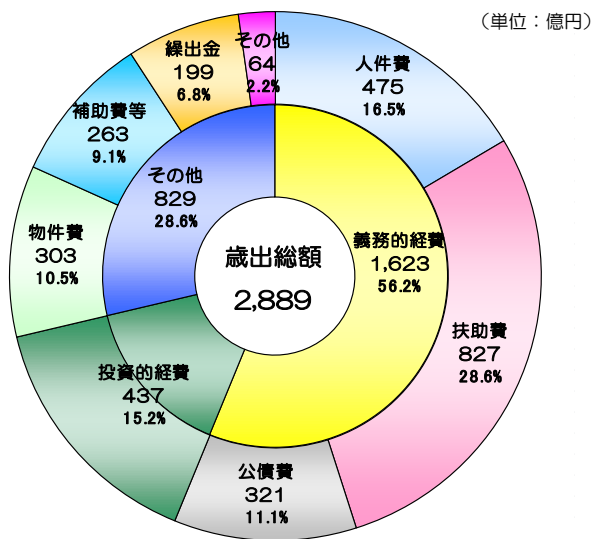
- ◆ 全会計合計 5,768億円（対前年比2.3%、130億円の増）
- ◆ 一般会計当初予算は2,889億円（対前年比1.2%、35億円の増）

一般会計予算額 2,889億円

< 歳入 >



< 歳出 >



< 財政規模の指定都市比較 > (平成26年度一般会計予算)

(単位：億円)

1	大阪市	16,627
2	横浜市	14,182
3	名古屋市	10,572
4	札幌市	8,848
5	京都市	7,935
6	福岡市	7,763
7	神戸市	7,071
8	川崎市	6,171
9	広島市	5,856
10	仙台市	5,581
11	北九州市	5,421
12	さいたま市	4,649
13	堺市	3,797
14	千葉市	3,753
15	新潟市	3,663
16	熊本市	2,889
17	岡山市	2,807
18	静岡市	2,762
19	浜松市	2,741
20	相模原市	2,576

指定都市中16番目の規模
(市民1人あたりの規模は14番目)

特別会計予算額 1,976億円 (全16会計)

企業会計予算額 903億円 (全5会計)

全会計予算額 5,768億円

(単位：億円・%)

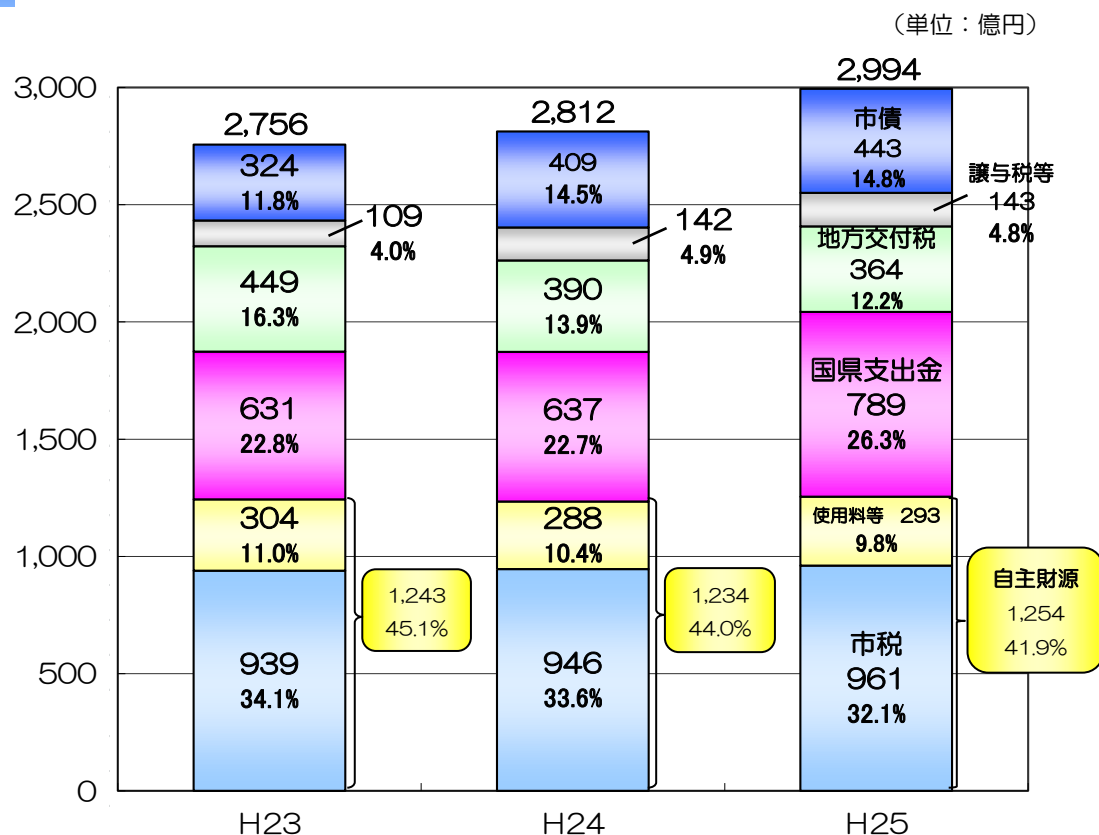
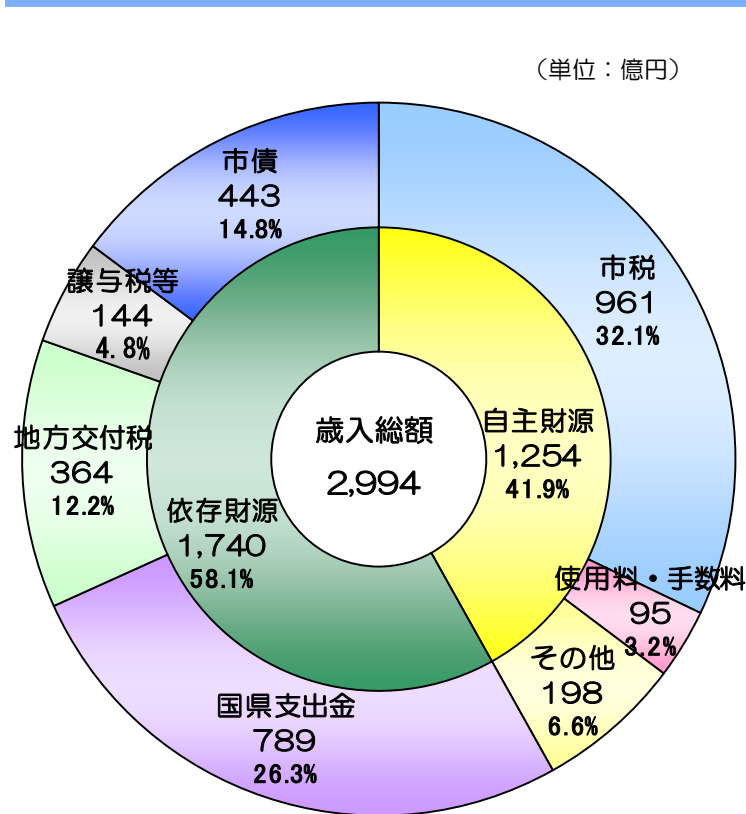
	平成26年度	平成25年度	前年比較	
			増 減	伸 率
一般会計	2,889	2,854	35	1.2
特別会計	1,976	1,966	10	0.5
企業会計	903	818	85	10.4
合 計	5,768	5,638	130	2.3

Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 決算の状況(普通会計 歳入)

- ◆ 平成25年度歳入決算総額は2,994億円で、前年度比6.5%、182億円の増
- ◆ 市税の決算は961億円で、前年度比1.6%、15億円の増、全体に占める割合は32.1%

平成25年度 普通会計決算(歳入)



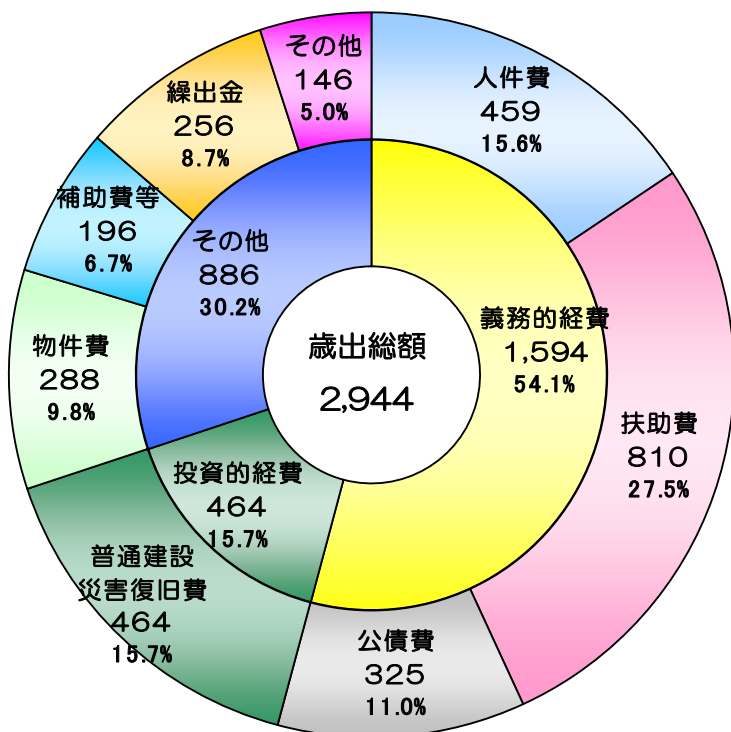
Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 決算の状況(普通会計 歳出)

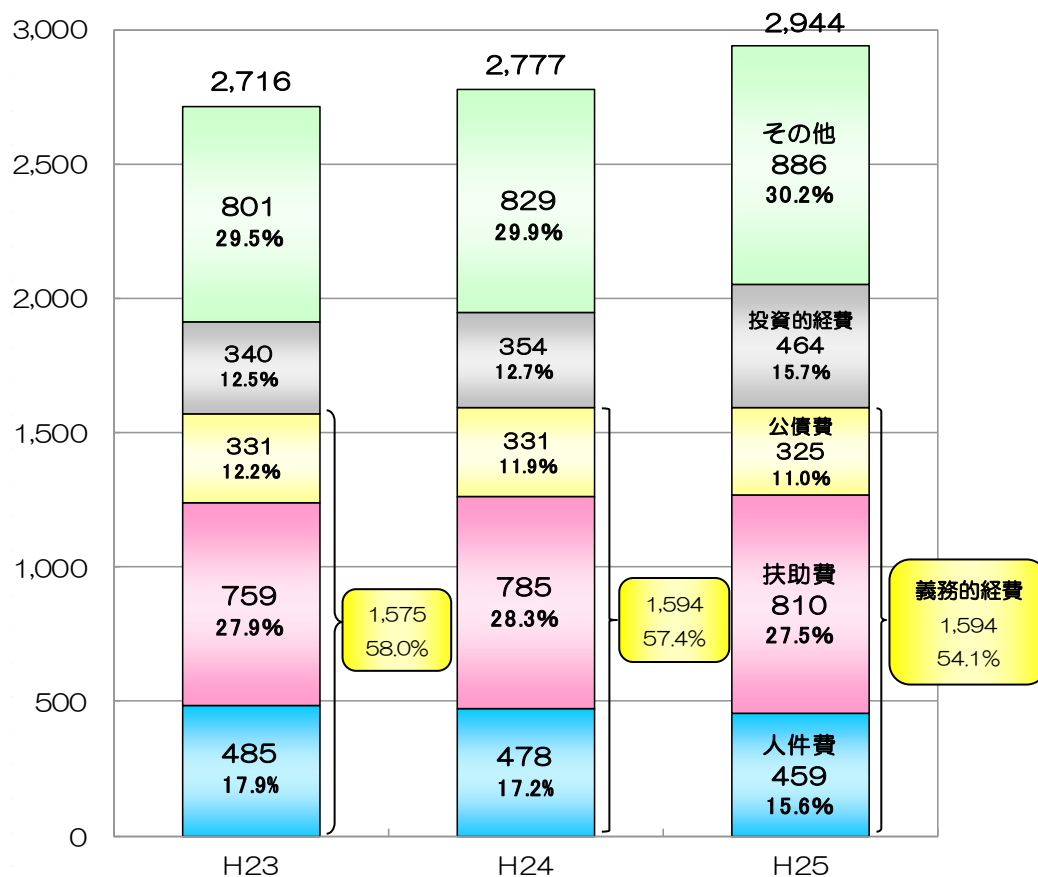
- ◆ 平成25年度歳出決算総額は2,944億円で、前年度比6.0%、167億円の増
- ◆ 義務的経費の決算は1,594億円で、前年度と変わらず、全体に占める割合は54.1%
- ◆ 投資的経費の決算は463億円で、前年度比30.8%、109億円の増、全体に占める割合は15.7%

平成25年度 普通会計決算(歳出)

(単位：億円)



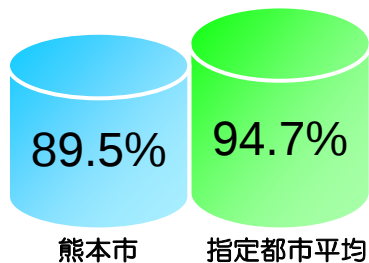
(単位：億円)



Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 主な財政指標の状況（平成25年度決算）

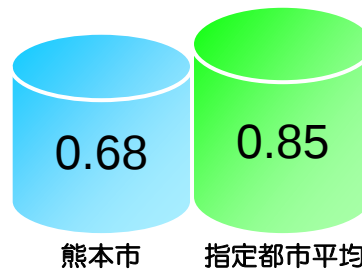
経常収支比率



指定都市平均より
良好な水準
(20市中2番目)

● 財政構造の弾力性を比較する比率（高いほど硬直的）

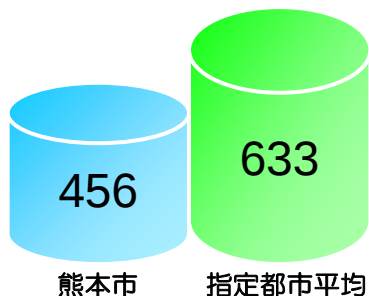
財政力指数



指定都市平均を
下回る水準
(20市中20番目)

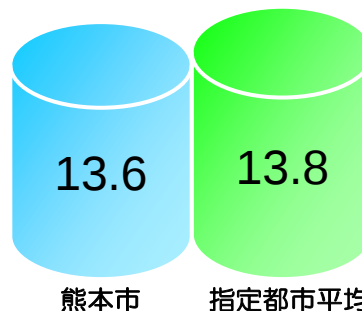
● 財政力を示す数値（高いほど財源に余裕あり）

市民1人あたりの市債残高(千円)



指定都市平均より
良好な水準
(20市中6番目)

市民1人あたりの財政調整基金残高(千円)



指定都市平均と
同じ水準
(20市中8番目)

Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 健全化判断比率の状況

- ◆ 早期健全化基準に該当する指標はなく、また、近年改善傾向にあり健全な財政状況
- ◆ 指定都市との比較においても、良好な水準

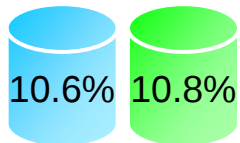
健全化判断比率の推移

	H21	H22	H23	H24	H25	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	—	—	11.25%
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	16.25%
実質公債費比率	13.0%	12.2%	11.8%	11.1%	10.6%	25%
将来負担比率	140.5%	135.7%	125.3%	120.7%	122.5%	400%

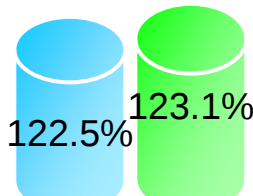
健全化判断比率の指定都市比較（H25決算）

●実質公債費比率

●将来負担比率



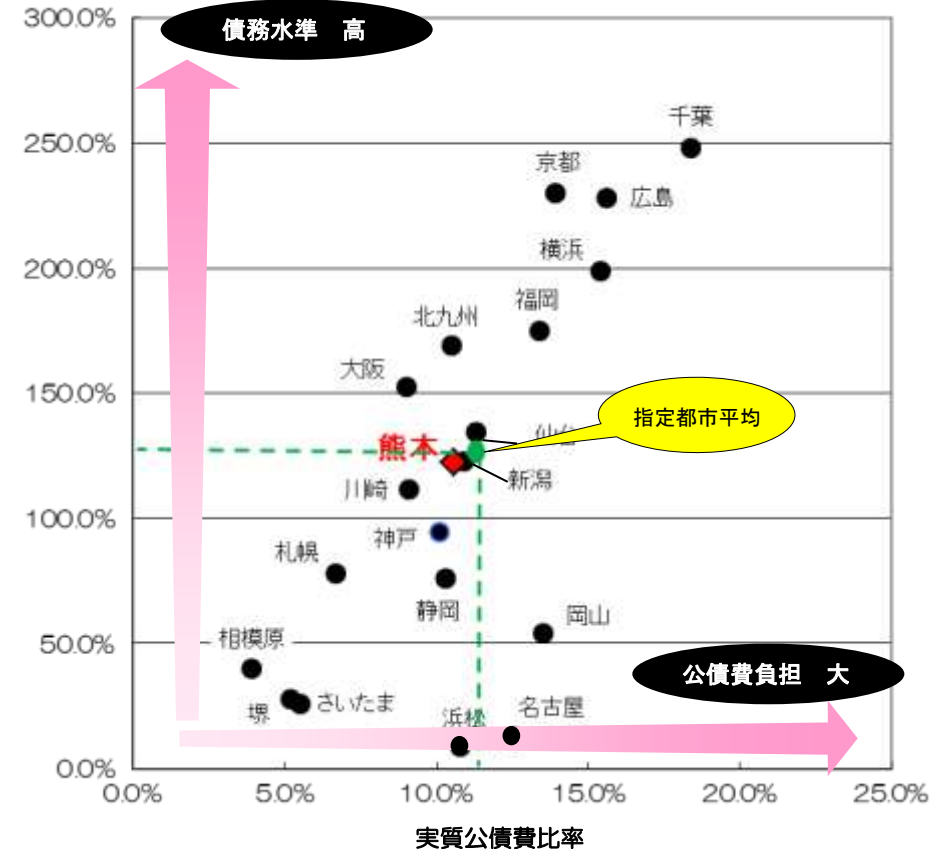
熊本市 指定都市平均



熊本市 指定都市平均

指定都市平均より良好な水準
(20市中、実質公債費比率9番目
将来負担比率10番目)

将来負担比率

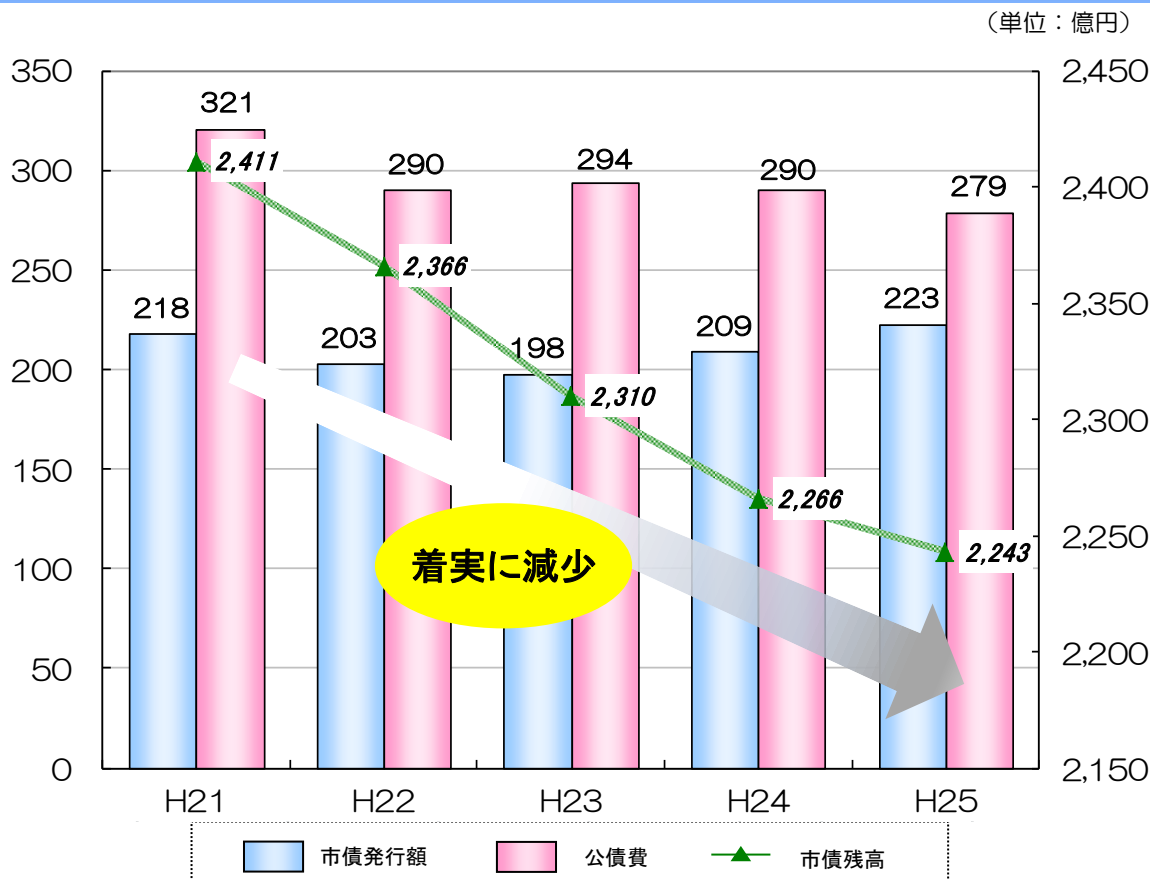


Ⅲ. 熊本市の財政状況

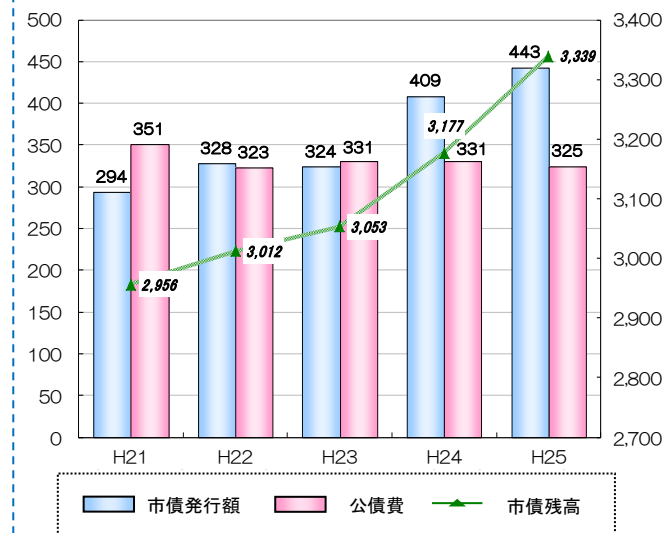
■ 市債発行額・公債費・市債残高の状況(普通会計)

- ◆ 市債発行額は、政令指定都市移行後、増加傾向に転じているが、公債費は発行額を下回ることなく減少傾向で推移（臨時財政対策債を除く）
- ◆ 市債残高（臨時財政対策債を除く）についても着実に減少

市債発行額、公債費及び市債残高の推移（臨時財政対策債を除く）



(参考)市債発行額、公債費及び市債残高の推移（臨時財政対策債含む）



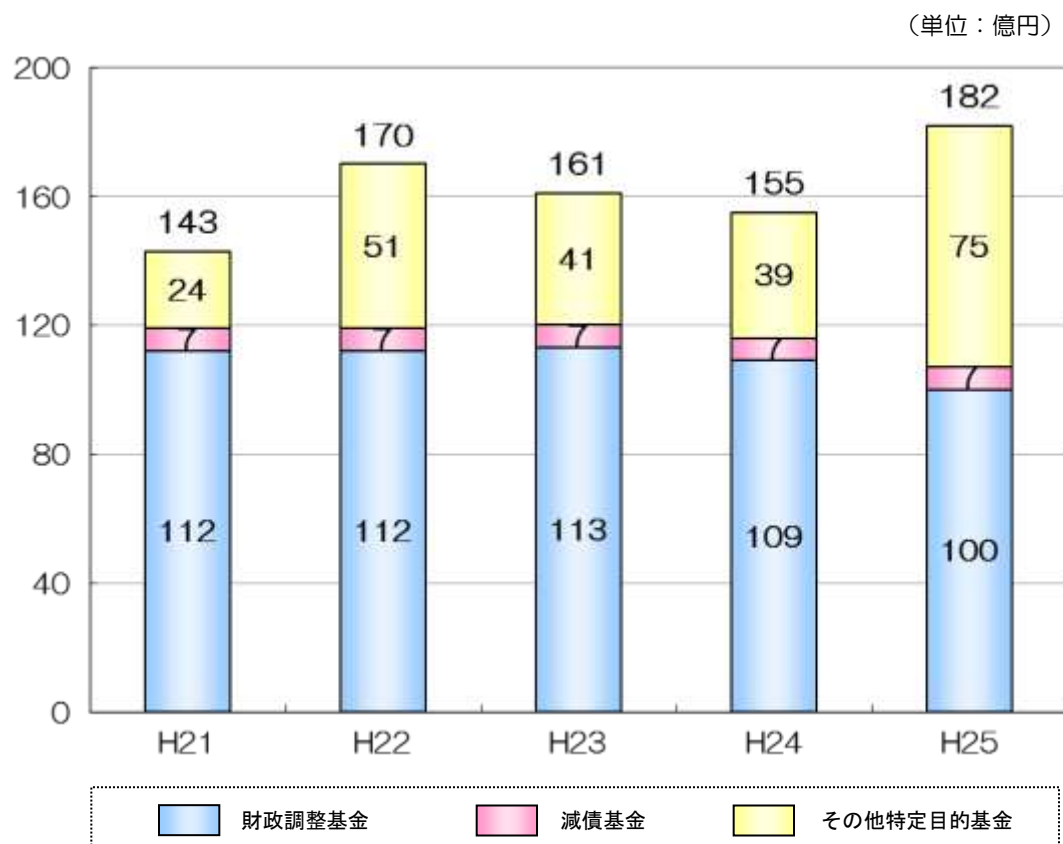
臨時財政対策債とは、地方交付税の財源不足に対応するため、本来、地方交付税として交付する一部を代替財源として借入れにより補てんするもの。なお、その元利償還金相当額については、翌年度以降の地方交付税の基準財政需要額に全額算入する

Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 基金の状況

- ◆ 財政調整基金残高は、継続して100億円台を維持
- ◆ 市民1人あたりの財政調整基金残高は、指定都市の平均と同じ水準を確保

各基金の年度末残高の推移（普通会計）



(単位：億円)

	H21	H22	H23	H24	H25
財政調整基金	112	112	113	109	100
減債基金	7	7	7	7	7
特定目的基金	24	51	41	39	75
エンゼル基金	4	4	4	4	4
交通遺児援助基金	1	1	1	1	1
ふるさとの森基金	6	6	6	6	6
人づくり基金	6	6	6	6	6
熊本城復元基金	3	5	5	5	5
スポーツ振興基金	1	1	1	1	1
文化財保存修復基金	1	1	0	0	0
城南地域整備基金	—	16	12	10	7
植木地域整備基金	—	10	5	2	0
地域の元気基金	—	—	—	—	41
市民公益活動支援基金	—	—	—	0	0
その他	2	1	1	4	4
合 計	143	170	161	155	182

Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 特別会計の状況（平成25年度決算）

- ◆ 国民健康保険会計の累積赤字は15億円となり、前年度から7億円の収支改善
- ◆ 健全化計画の取組みにより、平成26年度中の累積赤字の解消を目指している

（単位：億円）

会計名	歳入 (A)	歳出 (B)	形式収支 (A) - (B) = (C)	翌年度へ繰越 すべき財源 (D)	実質収支 (C) - (D)	備考
国民健康保険会計	825	840	▲ 15	0	▲ 15	健全化計画実施
介護保険会計	525	508	18	0	18	10億円を超える黒字
競輪事業会計	126	123	3	0	3	一般会計へ2億円繰出
その他の会計	475	470	4	0	4	その他13会計（赤字なし）
合 計	1,951	1,941	10	0	10	

国民健康保険会計健全化計画の取組み

【目標】 H26までに累積赤字を10億円に圧縮

【計画期間】 平成17～26年度

【具体的な実施項目】

- 医療費適正化（ジェネリック医薬品普及啓発等 他）
- 保険料の改定（平成23年度実施）
- 収納率の向上
（口座振替の促進、厳正な滞納整理の実施 他）
- 一般会計からの支援
（法定外の繰入額を平成24年度から10億円増額）

（単位：億円）

	実 績（決 算）						計 画
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
歳入	665	741	776	812	834	825	881
歳出（繰上充用除く）	666	743	767	792	803	818	866
単年度収支	▲ 1	▲ 2	9	20	31	7	15
累積収支	▲ 80	▲ 82	▲ 73	▲ 53	▲ 22	▲ 15	0
保険料収納率	85.3%	85.8%	87.1%	87.0%	87.1%	88.5%	89.0%

累積赤字を圧縮

Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 公営企業会計の状況（平成25年度決算）

- ◆ 全会計において、収益的収支は黒字
- ◆ 交通事業会計は、経営健全化計画の取組みにより、資金不足の解消に努めている

（単位：億円）

会計名	平成25年度決算（収益的収支）			資金剰余（不足）額								資金不足比率							
	総収益	総費用	純利益	決算					計画			決算					計画		
				H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
病院事業	139	139	0	10	10	9	14	▲ 18	—	—		—	—	—	—	—	—	—	
水道事業	128	109	19	75	99	110	111	19	—	—		—	—	—	—	—	—	—	
下水道事業	160	150	10	73	75	91	90	36	—	—		—	—	—	—	—	—	—	
交通事業	35	27	8	▲ 49	▲ 42	▲ 35	▲ 30	▲ 16	▲ 16	0		202.1%	176.0%	153.5%	154.4%	100.4%	89.4%	—	
合 計	462	425	37	109	142	175	185	21											

交通事業会計の経営健全化計画の取組み

【計画期間】 平成21～27年度

【具体的な実施項目】

- バス事業全面廃止（民間移譲）
- 職員数の削減（238人削減）
（H21 338人 → H28 100人体制）
- 職員給与の削減（5%カット）
- 資産の有効活用（用地売却等）



Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 外郭団体の状況（平成25年度決算）

- ◆ 土地開発公社の解散（平成16年度）により、地方三公社は「なし」
- ◆ 長期借入金及び債務保証等に係る債務残高は「なし」

外 郭 団 体（出資比率50%以上）の 決 算 状 況（平成25年度）

（単位：千円）

団体名	種別	基本財産 （資本金）	本市 出資額	本市 出資割合	H25年度 経常損益	正味財産	長期借入金	債務保証等に 係る債務残高
熊本市美術文化振興財団	公益財団法人	100	100	100%	3	229	0	0
くまもと地下水財団	公益財団法人	50	50	100%	0	424	0	0
熊本市学校給食会	公益財団法人	100	100	100%	△ 1	101	0	0
熊本市水道サービス公社	公益財団法人	30	30	100%	1	99	0	0
熊本市下水道技術センター	公益財団法人	50	50	100%	1	78	0	0
熊本市駐車場公社	一般財団法人	50	50	100%	3	124	0	0
熊本市国際交流振興事業団	一般財団法人	180	180	100%	0	218	0	0
熊本市勤労者福祉センター	一般財団法人	32	32	100%	13	145	0	0

外 郭 団 体 経 営 改 革 計 画 の 取 組 み

【計画期間】 平成16～25年度

【具体的な実施項目】

- 熊本市土地開発公社等4団体の解散
- 市の関与の見直し
（補助金削減・派遣職員の引き上げ）
- 公益法人への移行

主な取組み

- ・ 熊本市土地開発公社の解散（平成16年度）
- ・ （株）サンシティの解散（平成16年度）
- ・ 福祉公社の解散（平成17年度）
- ・ （財）熊本市住宅協会の解散（平成23年度）
- ・ 職員の派遣を26名減（引き上げ）（平成18年度より実施中）

Ⅲ. 熊本市の財政状況

■ 財政の中期見通し

- ◆ 計画的な財政運営により、収支は安定的に推移していく見通し
- ◆ 将来負担比率や市債残高については、国県道整備事業等の投資的経費の増加に伴い、上昇傾向となる見通しであるが、早期健全化基準を大きく下回る水準

(単位：億円、%)

歳入	H26	H27	伸率	H28	伸率	H29	伸率	H30	伸率
市税	971	966	▲ 0.5	972	0.6	979	0.7	966	▲ 1.3
実質的な地方交付税	563	542	▲ 3.7	518	▲ 4.4	512	▲ 1.2	533	4.1
国県支出金	700	734	4.9	726	▲ 1.1	744	2.5	763	2.6
市債（臨財債除く）	235	350	48.9	289	▲ 17.4	285	▲ 1.4	262	▲ 8.1
その他収入	420	417	▲ 0.7	428	2.6	439	2.6	438	▲ 0.2
合 計 A	2,889	3,009	4.2	2,933	▲ 2.5	2,959	0.9	2,962	0.1

歳出	H26	H27	伸率	H28	伸率	H29	伸率	H30	伸率
義務的経費	1,623	1,655	2.0	1,681	1.6	1,699	1.1	1,728	1.7
人件費	475	486	2.3	482	▲ 0.8	473	▲ 1.9	471	▲ 0.4
扶助費	827	850	2.8	869	2.2	890	2.4	911	2.4
公債費	321	319	▲ 0.6	330	3.5	336	1.8	346	3.0
投資的経費	437	572	30.9	477	▲ 16.6	483	1.3	449	▲ 7.0
その他経費	828	789	▲ 4.7	783	▲ 0.8	772	▲ 1.4	774	0.3
合 計 B	2,888	3,016	4.4	2,941	▲ 2.5	2,954	0.4	2,951	▲ 0.1

収 支 A－B	1	▲ 7	▲ 8	5	11
---------	---	-----	-----	---	----

財政調整基金残高	101	101	101	101	101
実質公債費比率	10.0%	9.4%	9.0%	8.7%	8.5%
将来負担比率	122.2%	132.6%	137.4%	143.3%	147.7%
経常収支比率	89.6%	89.1%	89.8%	89.2%	89.6%
市債残高（臨財債除く）	2,182	2,313	2,378	2,448	2,504

【試算の前提条件】

〔歳入〕

- ・ 定住促進や少子化対策、交流人口の増加に向けた3つの取組みによる税収増等の効果は見込んでいない。
- ・ 市税は、確定している税制改正の影響を反映（政府が示す経済成長率等は考慮しない）
- ・ 実質的な地方交付税とは、地方交付税及び臨時財政対策債（地方交付税振替分）の合計
- ・ 期間中の財政調整基金の取り崩しはなし

〔歳出〕

- ・ 人件費は、中期定員管理計画に基づく職員数を考慮し、退職手当の所要額を確保
- ・ 扶助費は、生活保護費、保育所運営費等項目別に過去の実績等を勘案
- ・ 公債費は、既借入分は償還計画により、新規発行分は理論計算により推計
- ・ 投資的経費は、個別の事業計画と今後の収支見通しを勘案し推計

Ⅲ. 全国型市場公募地方債の発行の取組み

■ 平成26年度起債計画

- ◆ 指定都市移行により、市債発行額及び民間資金の割合が大幅に増加
- ◆ 市場公募債の発行により、多様化及び自立的・安定的な資金調達に取組む

平成26年度第1回公募公債の概要

【発行額】	100億円
【償還期間】	10年満期一括償還
【条件決定日】	平成26年11月11日（火）
【発行日】	平成26年11月28日（金）
【募集期間】	11月11日（火）～ 11月20日（木）

（参考）平成25年度市場公募債発行実績

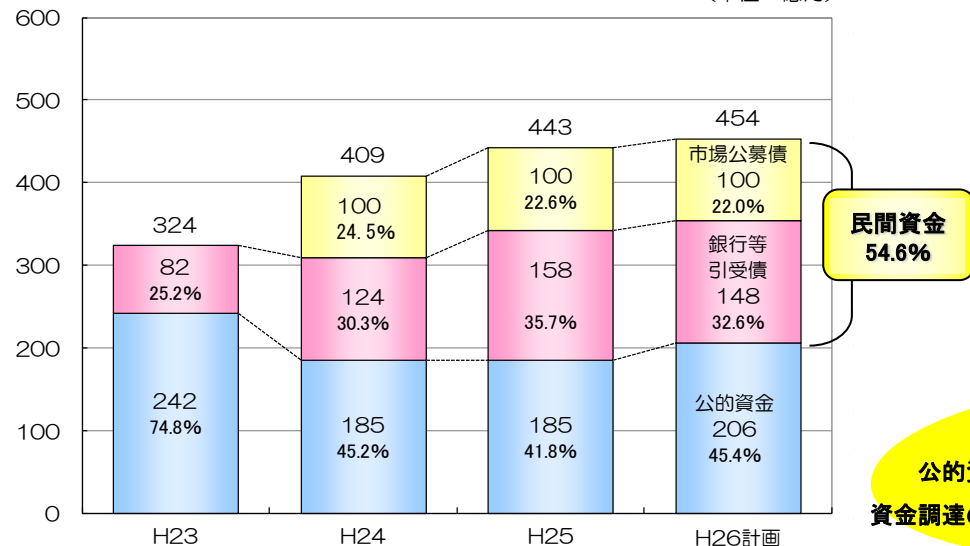
【発行額】	100億円
【償還期間】	10年満期一括償還
【発行日】	平成25年11月29日（金）
【募集期間】	平成25年11月12日（火） ～11月22日（金）
【発行価格】	100円00銭
【利率】	0.655%

<平成26年度熊本市市場公募地方債 引受シンジケート団>

銀行団	肥後銀行
	みずほ銀行
	熊本銀行
	熊本第一信用金庫
	あおぞら銀行
	熊本県信用組合
	熊本信用金庫
	熊本中央信用金庫
	新生銀行
	三井住友銀行
証券団	三菱東京UFJ銀行
	みずほ証券
	SMBC日興証券
	大和証券
	野村證券
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
	東海東京証券
	岡三証券
	SMBCフレンド証券
	しんきん証券
	パークレイズ証券

<市債発行額の借入区分別の構成比(普通会計)>

(単位：億円)



市場公募債発行を機に、
公的資金から民間資金へシフトすることで、
資金調達の多様化を図り、財政運営の自立性を高める

【お問い合わせ先】

熊本市財政局財政課



ひごまる

〒860-8601

熊本市中央区手取本町1番1号

電話： 096-328-2085

FAX： 096-324-1713

E-mail: zaisei@city.kumamoto.lg.jp

<熊本市ホームページ> <http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>

トップ  行政情報  財政・行政改革  財政

